

教育委員会定例会会議録

開催日時	令和6年9月4日（水）午前9時00分
開催場所	リバリス2階会議室
出席委員等	委 員 鳴海 良廣 委 員 牛田 裕子
	委 員 金永 俊一 委 員 上西 幸子
	教育長 恵利 修二
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 谷岡潔、専門監 本田敬、課長補佐 広瀬豊、 社会教育係長 森晃一、国スポ推進係長 黒木陽、 学校教育・給食センター係長 稲田宏美

・教育委員会定例会の開催

1 開会のことば

谷岡課長

- ・ただ今から令和6年8月木城町教育委員会定例会を開会します。

2 教育長あいさつ

恵利教育長

- ・9月に入りましたが、まだまだ暑い中足をお運びいただきありがとうございます。
若干朝夕の風が吹き出してきましたが、8月下旬ですね、前週定例会の予定でしたけども、台風接近のために延期をさせていただきました。ご迷惑をおかけしておりますが、本日は総合教育会議までと、長丁場でございますどうぞよろしくお願いいたします。
- 8月8日でしたか、夕方、宮崎県を中心に、南海トラフに関連しました地震は非常にびっくりしました。また先週に襲来しました台風10号被害はなかったでしょうか。自然災害の恐ろしさをまざまざと感じる夏だったなと思っております。改めてですね、地域防災だとか、地域連携の大切さを実感する機会となったところです。木城町としましては、大きな被害はなかったということで、胸をなでおろしたところでしたが、皆様方の近い方、ご親戚の方などですね、被害を被られた方おられなかったでしょうか、心からお見舞い申し上げたいと思います。私も小戸小学校というところに在籍したんですけども、悲惨な姿を報道や新聞で見まして目頭が熱くなったところでもございましたけども、子供たちや地域の方ですね、非常に街中ではありますけども、熱い協力のある木城みたいなのでございますので、復興にみんなで取り組んでいる姿がまた感動的だったなあと改めて、校長に電話をしたところでもございました。竜巻の被害もですね、木城町、高鍋町を外すように通っていったような感じでございますが、こういう台風災害につきましましては新たな災害の状況といいますか、私たちも心を引き締めていかなくちゃいけないなと思ったところでもございます。改めて、今後も被害が出ないことを願っております。後程の報告でございますがまた7月25日、前回ございましたけども、様々な夏の行事が行われて、夏休みも、子供たちにとって、充実したものになったんじゃないかなと思っております。大きな事件、事故、問題行動もですね、子供たちの中になくですね、無事2学期が、始業されたこと喜ばしいことかなと思っております。
- 本日も様々なご意見をどうぞよろしくお願いいたします。

3 議長選出

[恵利教育長欠席のため鳴海職務代理者に議長をお願いしました。]

4 8月期定例会会議録署名委員の指名(恵利教育長・鳴海委員)

5 議題及び議事

(1) 7月期定例会会議録の承認について(鳴海職務代理者・金永委員)

[事前に送付していた7月期定例会の会議録について承認され、委員において署名]

(2) 事務局報告事項

①教育長報告

・[8月行事報告と合わせて報告。]

②行事報告及び行事予定

8月行事報告)

恵利教育長

- ・8月1日(木) 木城塾(7月30日～)
 - ・8月3日(土) 海外派遣事業(7月31日～)
 - ・8月5日(月) 木城町新任教職員研修
木城町文化協会意見交換
 - ・8月6日(火) 駐福岡台湾総領事館「表敬訪問」
 - ・8月7日(水) 令和6年度宮崎県市町村教育長連絡協議会研修会
 - ・8月9日(金) 県国スポ・障スポ局 山下局長あいさつ来庁
 - ・8月10日(土) 木城盆おどり大会
 - ・8月11日(日) ミュージカル「モアナと伝説の海」
 - ・8月15日(木) 木城町戦没者供養祭式典
 - ・8月19日(月) 海外派遣事業第4回実行委員会
海外派遣事業事後研修会
 - ・8月20日(火) 木城学園登校日
交通安全対策協議会
木城町総合計画・総合戦略策定ワークショップ
 - ・8月22日(木) 9月議会補正予算町長査定
第2回木城町教育委員会評価等委員会
 - ・8月23日(金) 木城町商工会との意見交換会
定例課長会
 - ・8月26日(月) 特別支援課長(山之口課長) 来庁
 - ・8月27日(火) 木城学園2学期始業式
児湯地方教育委員会連絡協議会夏季研修会(中止)
 - ・8月28日(水) 第1回台風対策〈情報連絡本部〉会議
 - ・8月29日(木) 第2回台風対策〈災害対策本部〉会議
定例教育委員会(9月4日に延期)
令和6年度第1回木城町総合教育会議(9月4日に延期)
 - ・8月30日(金) 第3回台風対策〈情報連絡本部〉会議
- 以上が8月行事でございます。

教育長

・続きまして、9月行事を課長からお願いします。

9月行事予定)

谷岡課長

・9月2日(月) 人事異動事前ヒアリング

(所長、副所長、副参事補、総務課長、マネジメント担当) 来庁

- ・ 9 月 4 日 (水) 定例教育委員会 (8 月 2 9 日延期分)
令和 6 年度第 1 回木城町総合教育会議 (8 月 2 9 日延期分)
第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会宮崎県
準備委員会「第 8 回総会」
日本のひなた宮崎国スポ・障スポ実行委員会「第 1 回総会」
 - ・ 9 月 5 日 (木) 第 2 回生涯学習推進協議会
地域再生マネージャー事業ふるさと財団・外部専門家との懇親会
 - ・ 9 月 6 日 (金) 第 6 回木城町議会定例会 (～ 1 3 日)
木城町地域学校協働活動
自治公民館活性化プロジェクト会議
 - ・ 9 月 10 日 (火) 令和 6 年度新春ジョギング大会第 1 回実行委員会
 - ・ 9 月 11 日 (水) 第 2 回社会教育委員会議
 - ・ 9 月 13 日 (金) みどりの会
 - ・ 9 月 14 日 (土) どんぐり保育園運動会
 - ・ 9 月 15 日 (日) 木城町敬老の日大会
 - ・ 9 月 16 日 (月) 敬老の日 リバリスホール自主事業 (高齢者対象)
 - ・ 9 月 17 日 (火) 交通安全対策協議会
 - ・ 9 月 18 日 (水) 政策調整会議 (～ 2 0 日)
 - ・ 9 月 20 日 (金) 令和 6 年度第 1 回「部活動の地域連携・地域移行に係る会議」
 - ・ 9 月 22 日 (日) ゼロカーボン&オーガニックフェスタ i n K I J O
 - ・ 9 月 24 日 (火) 秋の全国交通安全運動広報パレード出発式
 - ・ 9 月 26 日 (木) 定例教育委員会 (予定)
文化財保存調査推進会議
 - ・ 9 月 27 日 (金) 教職員人事異動方針説明会
 - ・ 9 月 29 日 (日) 木城町立めばえ保育園運動会
- 9 月行事予定については以上です。

恵利教育長

- ・ 只今、行事報告と行事予定についての説明でした。何か質問等ございましたらどうぞ。

金永委員

- ・ 新任の先生方の研修ですが、場所はどこに行かれたんですか。

本田専門監

- ・ 比木神社、それから高城跡、そこで古墳も見学しました。その後、小丸川発電所を見学しました。午前中朝から行きましたが、お昼には戻ってくるような行程で行ってまいりました。

金永委員

- ・ 文化協会との意見交換ですか生涯学習のあり方についてということだったんですがこれはどんな内容ですか。

森係長

- ・ 文化協会の会長以下、役員の方が来られまして、文化協会のイベントで、11 月にイベントをされるんですけど、そこでの運営等がなかなか厳しいという相談や、同じ時期に生涯学習のつどいと言って、教育委員会でやるイベントがあるんですけど、そういったところで、共同できないかっていうようなところの相談がありました。
我々としても自主サークルとか、文化協会さんの活動を盛り上げていきたいというような思いがありますので、今後どういったことができるかというのを今から協議して

進めていきたいと思いますというところで話をさせていただきました。

金永委員

- ・連携してね、何か盛り上げていただけるとまたいいですね。11日のミュージカルです。子供たちが参加したということですがこの組織は何ですか。木城の子どもだけじゃないですね。

森係長

- ・木城の出身の方が、子供ミュージカルを指導されているんですけど、その方を中心として、木城だけではなくていろんなところで教室をされている方がいらっしゃいます、子供たちが練習されている成果をここで披露していただくというところで公演されました。

金永委員

- ・年間通じて何か定期的に集まって練習とかしているんでしょうかね。

森係長

- ・定期的にされているというふうに聞いておりまして、今回木城町からの補助も受けて、このミュージカルを行ったところでございます。

金永委員

- ・その教室での成果を発表されたということですね。持ち回りかなんかで発表会されるんでしょうかその町外の方がいるということは。まだそこまでは決まっていないですかね。その発表の場がね活躍の場があればいいですわねそういう環境が大事ですから。なんか学校参観に行ったときに、部活に入ってる生徒が、7年生はちょっと少ないとか言われてたんですけども、こういうところに行ってね、活動したりとかですねするんだったら申し分ないからですね、何もしないのが一番いかなと思ったから。部活に入らなくてこっちの方の活動に参加してるとかですね、バランス取っていけば問題はないと思います。

恵利教育長

- ・部活に入らずにダンスとかをやっている生徒が多いみたいです。

金永委員

- ・予定のところの6日ですね。地域学校協働活動というのがありますが、これは会議ですか何か活動されるんですか。

森係長

- ・当地域学校協働活動については地域活動を学校の中でやりましょうというところでですね、今年度2回活動を計画しています。どういった活動かという、1回目が7月に行ったんですけど、アサギマダラを木城に呼ぼうということでフジバカマの植栽をしました。今回は、コスモス大作戦ということで、今年度2回目の活動になるんですけど、コスモスの植栽を計画しています。今週ですけど、学校の中で地域の方も含めて、コスモスの植栽を行って一緒に育てていきたいと思いますというところで、今回計画をしております。地域の方と児童生徒さんも含めて活動するために、昼休みの時間帯で調整しています。

金永委員

- ・17日に交通安全の対策協議会っていうのが入ってますが何か懸念される場所とか何かありますか。

恵利教育長

- ・定期的に行われる、それぞれの季節の全国交通安全運動の前の段階での町の交通安全に関わる組織の代表の方とか、高鍋警察署とか、交通安全に気をつける運動をやっていきましょうという、決起集会的な共通理解を図りながらそういう意味での協議

会でございます。

金永委員

- ・20日のですね、部活動の地域連携・地域移行に係る会議がねもういろいろ大詰めになってるかもしれませんが、実際全面的な移行は何年度からだったですかね。

本田専門監

- ・地域連携ということで、現在は5つの部活動がありまして3つの部活動が、外部の指導者の方に見てもらっているんですけども、そういった方々については、次年度、部活動指導員という形で来年度ついていただくということで、現在計画を進めております。

金永委員

- ・最終的に全部の部活動が地域の方に移行されるんですよね。

本田専門監

- ・そこまではわかりません。

金永委員

- ・地域移行というシステムが出発するのは、26年と思ったんですが。教育長ご存じないですか。

恵利教育長

- ・国は令和8年度からそうして欲しいということはしてはますけども、木城町は既存の地域のボランティア的な方3名の方をまず地域連携として、地域の指導者として認めた上で、土日に指導をしていただくということで、他に部活がありますけども、そこはまず指導者を見つけなくちゃいけないし、だからそういう段階的な取り組みを今後やっていく上で、まずその連携を来年度から、今いらっしゃる方にお金を支払った上で指導員として認めて、協力をいただくということです。

金永委員

- ・どこの自治体もその指導者探しにやっぱり苦労するところもあるみたいですから、規定8年度となって来年1年間ですかね猶予があればねそこまである程度指導者を見つけてということになってくるんでしょうけど、結局、もう土日の部活の指導は教員はタッチしないわけでしょ。これは、地域移行というのは、最終的にはということであればですね。先生方の働き方ということを中心に考えると、地域に移行しようということは全面的にですね、だから今部活を持っておられる顧問の先生も、土日は地域の方に変わるわけですね。ちなみにこの地域移行を管理するところはどこになるんですかね。学校はもう関係ないですよね。管理下に入らないですよね。

本田専門監

- ・ただ顧問としては学校の先生、それ完全に移行したらそういった形になるということです。

金永委員

- ・どこが監督に入るのかなと思って、教育委員会事務局が監督に入るのか、町が入るのかなとかいろいろ考えたり、心配なのが地域移行してとこでちょっと問題があるところなんですよ。当初そこがうまくいけばいいかなというのがちょっとそこが心配で言ったんですけど、全面的に移行されたときに全部地域の方の指導者になるから、ある程度共通理解で出発するときの取り決めが必要だろうなという感じがね。子どもに何かあったら取り返しがつかないですよ。

恵利教育長

- ・社会教育の関係になるんですよね。ただですね教育委員会がやっぱり管轄して、学校教育から社会教育、地域の方々にお願いすると。既存でも、柔道、剣道、そして今度お

願いする、野球、テニス、陸上で願いする。その他にも実際あるんですよね。木城は、やっぱりご心配されるように、地域の方で願いするのであれば、やはりそういう、この会議を通じて、組織をきちんと作って、子供たちに対してはこんな指導をして欲しいとかですね、やっぱり教育ですので、社会教育ですので、やっぱりそういう教育のポリシーを持った指導をしていくと、学校とも共同歩調をしていかないと、子供たちを育てていく活動ですので、しっかりそこはやっていきたいなと思ってます。

金永委員

- ・そこは気をつけておく必要があるかなと思ったところです。予算取られますよね。来てもらうってことは、何か手当を出すわけでしょう。

鳴海委員

- ・部活動ですよね。部活動とは学校が主体的になるべきで、地域に移行するとかいうのは、願いをするのはわかるけど、責任とかいろんな問題が出てくるのは、これは部活動だから、学校の活動の1つとして、取り込むべきじゃないんですかね。僕はピンとこないんですけどどうですか。

恵利教育長

- ・その連携というこの違いじゃないかなと思うんですけど、連携の段階では部活動なんですよ、まだ。連携ですから、これが私たちが来年でやろうとしてるのは連携で、部活動の範囲であって、地域の方に、土日の練習をお願いすると、はっきり移行となったときにはそこが社会教育に切り離される。

鳴海委員

- ・移行になった場合は部活動と言えないんじゃないかな。学校が主体となってやっていくのが部活動だと思いますが。認識はしていたんですけど、もう移行してしまえば部活動と言わず別な名称にしてもらわんと困るんじゃないかなっていうような気がするんですけど。これは私の個人的な意見です。

恵利教育長

- ・部活動をどうとらえるかっていうので、やっぱり教育の一環やから、しっかり学校がリーダーシップをとってやっていかないとかなじゃないかっていうことのとらえが1つあるし、やや、子供を育てるためには地域も含めて、もう社会教育として、クラブチーム的に、地域でもはっきり移行してやっていくことも1つじゃないかっていうとらえ方もあって。

谷岡課長

- ・最初、文科省でしたか地域移行っていうのを大前提に物事を運ぼうとしたんですけど、やっぱりトーンダウンして、結局は、地域の実情に応じたという表現を付け加えたのがこの、いわゆる地域移行と地域連携というような表現になってきたのかなあと感じます。学校によってはまた先生によっては、例えば野球であったりサッカーで専門の先生が自分ところの学校の生徒を部活動として見たいという先生もいらっしゃいます。だけど専門の先生がいらっしゃらない学校もあるわけですよね。だから、そういったところは地域の人の力を借りましょうとか連携しましょうというのがある。先生と話す中でやってみたいっていう人はやっぱり、学校教育の一環であって部活動で規律を教えて、部活と学校生活が別々な問題じゃなくてこれが一体になっているから、見たいんだという先生も中にはいらっしゃいます。その地域の実情とか学校の実情に応じて、そういったのをどうしていきましょうというのを、今から話し合いをしていきましょうという会議というふうに理解をしております。

金永委員

- ・うまく詰めていかれるといいですね。中途半端で行くと取り返しがつかんことになる

といかんと思ったものですから。煮詰めてもらって、いい形で出発すればいいかなと思ってますが、部活動ですからね、学校が全然ノータッチという訳にはいかんですからね。鳴海委員がおっしゃるようにですね、子供たちと安全ということですね、やっぱり常にこう見とくという姿勢はやっぱり必要ですね。ただ、何か事故が発生したときに全部それがその責任が校長に行くといろいろ拒否感があるかなとか思ったり、いろんな整合性を整えながら出発しなくちゃいかんだろうと思いますが、今課長さんおっしゃるような何かいろいろ変わってきてるのかもしれませんが。最初地域移行でね、バーッと出てきたからもうそれが印象づけられてるけども、経過を見るとね、地域の実情が上がってきてるから、また変わってきてるのかもしれませんがそこを上手く調整しながらですね、いい形で出発すればいいかと思いますのでよろしくお願いします。

恵利教育長

- ・また、定期的にこの推進状況については、この会でご報告することになると思います。言えることは、木城町は非常にそういう点でやりやすい町かなと。宮崎市とか、大きいところは非常に指導者が足りなかったり、組織が大きくなりすぎてニーズも多いので、非常に困ったという情報も聞いているところですので、さっき話がありましたように地域の状況に応じて、やるということですのでまた前向きにとらえながらですね、進捗状況について説明させていただきますよろしかったでしょうか。それでは続きまして、その他に入りたいと思います。木城町議会定例会の議案関係について、課長から報告をいたします。

谷岡課長

- ・第6回木城町議会定例会、9月議会に提案をいたします、9月補正予算（歳出）の概要について説明いたします。（以下配布資料により説明。学校教育関係として、関東木城会交流会（特別旅費）、教育支援センターパーテーション購入（備品購入費）、みどりの杜木城学園防災用ヘルメット（消耗品費）、旧小学校跡地ヒイラギモクセイ移植作業（委託料）、社会教育関係として、中之又笑学校無線ルーター（消耗品費）、中之又笑学校インターネット使用料（通信運搬費）、中之又笑学校光回線工事（工事請負費）、グラウンドナイター設備電灯制御盤修繕（修繕料）、一般修繕料（修繕料）、山塚運動広場センダン伐採作業委託（委託料）

恵利教育長

- ・以上9月補正についての概要説明でした。この点について何かご質問等ございますでしょうか。

鳴海委員

- ・防災用のヘルメットは全児童生徒数ですか。

谷岡課長

- ・全児童生徒、先生と、外から来られる方の分も50個ですから、580個ぐらいですね。押すとヘルメットになる折り畳み式ヘルメットです。

金永委員

- ・ヒイラギモクセイはどこに移植されるか。

谷岡課長

- ・移植先についてはまだなんですけれども、秋口に1回根巻きをしておかないと枯れるということがあるそうです。実際の移植は冬ですね。2月くらいに移植をするという計画です。

金永委員

- ・この中之又の無線ルーターとか、今まで入ってなかったんですかね。

谷岡課長

・今までは設置されていませんでした。

金永委員

・入るといいですね。行く人がね会議だったりとかもあるからいいと思います。人は少なくても、この人が多いところと同じような形でね生活ができるのがねやっぱ一番いいでしょうからね、少ないから我慢しなさいじゃねちょっといかんでしょうから、心強いですね。

恵利教育長

・次に、教育に関する事務の管理及び執行の状況点検及び評価等について、課長から報告をお願いします。

谷岡課長

・それでは、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」について説明します。(以下、配布資料により説明。令和5年度木城町教育委員会の自己点検・評価シートについて説明。教育委員会評価等委員が評価した総合評価について説明。これについては9月議会で報告。)

恵利教育長

・何かご質問等ございますでしょうか。

金永委員

・委員の方は、おそらくそんな悪い評価もつけられないと思うんですが、どちらかというと、いい形で相手を尊重する形で評価されてると思います。重要な変化のところは感じ取るとしたらそのB評価をあえて挙げておられるから、そこを見ると、社会教育ですねそれから文化芸術ですか、前からちょっと懸念されたところだなと思ってるところです。だから、いろんな地域の活性化とかですね、今までやってきた伝統的なところ、その継承、その辺をてこ入れして長続きするような形でのシステムづくりをしていく必要があるんだろうなど。地域の方、学校の方は校舎も良くなって、子供たちも元気よく、活動されているからいいと思うんですけど、地域の方が取り残されないように、ちょっと心配りをですねしていく必要があるかなと思ったところです。この微妙な変化を感じ取るとするならば、あえてB評価とつけられるからですね。もう1つ、芸術文化振興ですね。これも以前から、歴史の組織の資料が残ってるって聞いています。これを展示できないかという提案があってこれがどうも気になってですね、結局その展示というのは、将来、子供の学習の場になるんですよ。それがねちょっと1つ増えればいいなと思ったんですよ。展示場所が出てくると、学年交流というのを2年前ぐらいに討議してました。授業参観の後にそこで異学年交流の他に運動会とか何があるかなと私は子供の学習の場がもう1つできてくると、7・8・9年の人が今まで学んでくるから、そのことを下の学年の子供たちに教えることも考慮できるなと思ったところです。いろんな環境があれば異学年交流できるなとか、できるんですけども、その場を作るために、歴史研究家の人たちの提案があったときに資料館とかつけれないでしょうかね。その中之又は以前、鉾山で木城を支えましたよね。いろんな科学的な研究がなされて、人体に被害があるということで閉鎖しましたが、それまではね木城を支えてるし、頑張った人たちがいるし、そこに光をちょっと与えないと発展しないなと思ったところなんです。そこがちょっと眠ってるから、光をしっかりと当ててやって、流れがスムーズになるようにと思ったところでした。中之又は特に九大の歴史研究科の人が、中之又は九州のヘソでおそらく祠がいっぱいあると。これはいっぱい人的な活動があったということですよね。そんな歴史が眠ってるのかなんとかですね。そういう思いで提案されたから、木城史友会が提案されたことがあったんですけども、私も何か調べたいときには、西都の図書館と、高鍋に行って調

べるんですけども、何かそういうのがあるといいなと思ったところでした。将来的にそのように持っていければいいなと思ってます。

恵利教育長

- ・歴史文化については、おっしゃる通りで、あるものをやはりうまく展示したり、調査したり、広めたりするのは、課題かなと思っておりますので、言葉だけでなく、少しずつ広げる具体的な歴史調査の詳しい方も入っていただいでですね、高城合戦とか、またはその展示のあり方について今研究しているところでございます。またこの会でお知らせしていきたいと思っております。ありがとうございました。

恵利教育長

- ・それでは海外派遣事業についてということで、別冊で木城町義務教育学校海外派遣事業研修記録という、この7月31日から事細かく時間ごとにまとめられています報告書記録をご覧ください。木城学園の小嶋校長先生が、随時行かれた途中でまとめられたもので、時系列でずっと書かれております。歴史まさしく台湾の歴史文化施設をずっと訪問したり、特に一番子供たちの心に残ったものは、と聞きましたところ、台北市立建成国民中学校との交流が9時から始まったということで、約同じ数の子供たち、プラスアルファの子供たちが夏休みにもかかわらず、学校に登校してきてくれて、非常に綿密な準備をしていただいて、交流を図ることができました。まず、あちらの学校に行ったときに、横断幕を皆でそろえてですね、皆で集合写真、広い体育館講堂みたいなところで交流会をしました。木城の子供たちもプレゼンで発表しました。真ん中の女性の方がいらっしゃいますが、あちらの校長先生です。友好校として姉妹校としての締結を、校長先生同士で締結書に調印をしたところです。そのほか、様々な音楽の交流だとか、お茶文化が台湾はございますので、お茶を一緒にいただくという交流、またはICT、DX系が非常に発達しているということで、その取り組みについての交流、この交流の元になっているのが英語です。台湾の子供たちは北京語と英語を非常に駆使して、非常に日常語として使っている子供たちに対して、学園の生徒はまだまだ語学力が不足しているなあと感じました。自分たちを振り返った木城の子供たちの意見もございましたが、ボディランゲージも含めて、最後は、仲良く話しながら、別れてきた子供たちもたくさんいました。ICTを活用した、今回スマホを持っていたので、その後スマホで交流をしているという子供たちもいるやに伺っております。最後に先生方職員も行きましたので向こうの職員とうちの学園の先生が、お約束をして、オンラインで、今後、授業の交流をしていこうということで約束をしましたので、それも今後できるということで、もしかしてこの校長先生のお話では、今後、木城の方に、子供たちが伺ってよろしいですかっていうことでどうぞというようなお話しましたので、もしかして交流が生まれるかもしれません。この台湾のこの学校は、山口の学校とも交流しているみたいで、そこには、年に1度、子供たちを連れて交流しているようですので、生まれる可能性があるかと思います。

金永委員

- ・こちらでの交流が実現するといいですね。今回お世話してもらった形でこちらでもお世話すると。世話するのもいろいろ大変ですが、大変なことを学ぶっていうこと。人間的に成長するでしょうね。丁寧にお世話しないといけないからですね。

鳴海委員

- ・この報告書、細かく見させていただいたんですけど、いい視察だったというのが手に取るようにわかりました。よくできていると思います。

恵利教育長

- ・ありがとうございます。校長に報告しておきます。それでは本日の内容につきましては、終了させていただいてよろしいでしょうか。
- 次回定例会の日程についてよろしくお願いします

谷岡課長

- ・次回の9月の定例教育委員会を、9月26日木曜日の午前9時からリバリス会議室で行いたいと思います。委員の皆様、ご都合はいかがでしょう。

恵利教育長

- ・皆さん、よろしいですね。9月26日9時からということでよろしくお願いします。それでは本日の会を閉会させていただきます。

次回定例会日程

9月26日(木) 午前9時00分からリバリス会議室

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

木城町教育委員会

会議録署名委員

教 育 長

恵 利 修 二

委 員

嶋 海 良 廣